

動物実験に関する自己点検・評価報告書

大阪教育大学

(対象期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日)

平成29年6月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 □ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・大阪教育大学動物実験等の実施に関する規程
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) ・基本指針を踏まえた機関内規程が定められている。
4) 改善の方針 ・該当なし

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 □ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・大阪教育大学動物実験等の実施に関する規程 ・動物実験委員会委員名簿
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) ・動物実験委員会が適正に組織され運営されている。
4) 改善の方針 ・該当なし

3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 □ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・大阪教育大学動物実験等の実施に関する規程 ・動物実験委員会委員名簿
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) ・規程及び細則により実施体制が定められている。
4) 改善の方針 ・該当なし

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組み換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 ■ 該当する動物実験の実施体制が定められている。 □ 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 □ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・大阪教育大学動物実験等の実施に関する規程 ・大阪教育大学遺伝子組換え実験安全管理規程
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) ・規程、規則等により実施体制が定められている。
4) 改善の方針 ・該当なし

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・大阪教育大学動物実験等の実施に関する規程
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) ・規程により飼養保管施設が定められ、管理者が置かれている。
4) 改善の方針 ・該当なし

6. その他(動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

・特になし

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果 ■ 基本方針に適合し、適正に機能している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・大阪教育大学動物実験等の実施に関する規程 ・動物実験委員会委員名簿 ・動物実験委員会議事要旨 ・動物実験計画承認通知
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) ・規程に則って動物実験計画の審査や動物実験結果の審議を行っている。 ・教育訓練の内容を確認している。
4) 改善の方針 ・該当なし

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・動物実験計画承認書 ・動物実験計画変更承認書 ・動物実験結果報告書
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) ・動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告が適正に実施されている。
4) 改善の方針 ・該当なし

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況
(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果 ■ 該当する動物実験が適正に実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。 □ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料(安全管理上の事故等があれば、事故記録を対象とする。) ・大阪教育大学遺伝子組換え実験安全管理規程 ・動物実験計画承認書 ・動物実験計画変更承認書 ・動物実験結果報告書
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) ・規程に従い安全に実施されている。
4) 改善の方針 ・該当なし

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か? 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・動物実験計画書 ・動物実験終了・中止報告書 ・マウス及びラットの飼養・保管に関する標準業務手順書(マニュアル) ・ハトの飼養・保管に関する標準業務手順書(マニュアル) ・小型・中型オウム目の飼養・保管に関する標準業務手順書(マニュアル)
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) ・飼養保管状況の適正化について、定期的な点検を行っている。
4) 改善の方針 ・該当なし

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の施設等は適正な維持管理が実施されているか？修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか？)

1) 評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・飼養保管施設設置承認申請書 ・動物実験室設置承認申請書
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) ・適正に維持管理されている。
4) 改善の方針 ・該当なし

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか？)

1) 評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・大阪教育大学動物実験等の実施に関する規程 ・プログラム、受講者数等記録
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) ・規程に従い適正に実施されている。
4) 改善の方針 ・該当なし

7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・大阪教育大学動物実験等の実施に関する規程 ・動物実験に関する自己点検・評価報告書(案)
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)
4) 改善の方針

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

①平成28年度の申請件数及び承認件数

- ・申請件数 6件
- ・承認件数 6件

②実験動物の種類・個体数

- マウス 4個体
- ラット 30個体
- ハト 8個体
- セキセイインコ 4個体

③研究タイトル

- 申請1 ①生体リズムと高脂肪食摂取による肥満の関係
②運動による糖代謝活性がミトコンドリアの適応変化に与える影響

申請2 行動履歴効果が刺激般化に与える影響

申請3 セキセイインコ及びハトにおける幾何学錯視知覚傾向のヒトとの比較

申請4 高度好塩性古細菌の細胞凝集に関わる細胞表面糖タンパク質を認識するモノクローナル抗体の生成

申請5 軟体動物アラムシロガイの成貝組織及び幼生, 棘皮動物イトマキヒトデの成体組織及び幼生を抗原とするモノクローナル抗体の生成

申請6 ガドミウム等の重金属を接合したタンパク質で免疫したマウスを抗原とするモノクローナル抗体の生成